

令和 2 年度 法人本部事業報告

1. 総 括

法人の経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、会計監査人配置による財務規律の強化に取り組みました。また、地域における公益的な取組について求められるようになり、多様な関係機関や組織、個人との連携・協働を行いながら安定した事業の継続に取り組んできました。

新型コロナウイルスによる感染症対策について、情報収集、対応の協議を行い、各施設・職員へ各種対応・対策のために、文書で指示し感染予防に努めました。

令和 3 年度から運営する「あきたセントラルキッチン」の創設工事が竣工し、利用者の方に喜ばれ、衛生管理（HACCP）の徹底による、安心安全な食事提供への準備を整えました。

障害者施設においては、利用者の安心安全な生活を確保するため、停電時において照明や暖房、各種施設内設備を稼働させる緊急災害用の非常用自家発電設備を設置しました。

2. 重点事項

- (1) 新型コロナウイルスによる感染症対策について、「当法人における新型コロナウイルスへの対応について」第 7 号から第 32 号により、文書で指示し感染予防に努めました。
- (2) 利用者の方への安全で安定した食事の提供が継続していけるように、「あきたセントラルキッチン」建設施工が竣工し、準備を整えました。
- (3) 4 月よりあいかわ保育園の運営を行い、子どもの健全な心身の発達を図り、保護者や地域から親しまれる環境づくりに努めました。
- (4) 北秋田市からの委託業務として、中部地域包括支援センターの配置と、指定居宅介護支援事業所の配置により、地域の方々の様々な相談や悩み事に寄り添い、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるようサポートしました。
- (5) 利用者の安心安全な生活を確保するため、停電時において照明や暖房、各種施設内設備を稼働させる緊急災害用の非常用自家発電設備を設置しました。
- (6) 地域における公益的な取り組みとして、永楽苑デイサービスセンターにご利用登録されている方に、福祉有償運送事業と夕食宅配サービス事業を行いました。
- (7) 普通免許を返納した高齢者を対象とした、買い物支援サービスの準備を整え、将来的には、他法人との連携による公益事業活動への展開の準備を進めました。
- (8) 職員が仕事を通じて人間的に成長できるよう、より良い職場の環境づくり、さらなるスキルアップのため専門資格取得への助成を行いました。
- (9) 広報・ホームページ等で積極的な情報開示、情報提供に努めました。

3. 主たる施設整備・設備整備

(1) あきたセントラルキッチン建設工事	1,017,720,000 円
(令和 2 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 68,143,000 円)	
(2) あきたセントラルキッチン厨房機器	386,540,000 円
(3) あきたセントラルキッチン運送用車両	7,250,460 円
(4) あきたセントラルキッチン給食管理システム	14,410,000 円